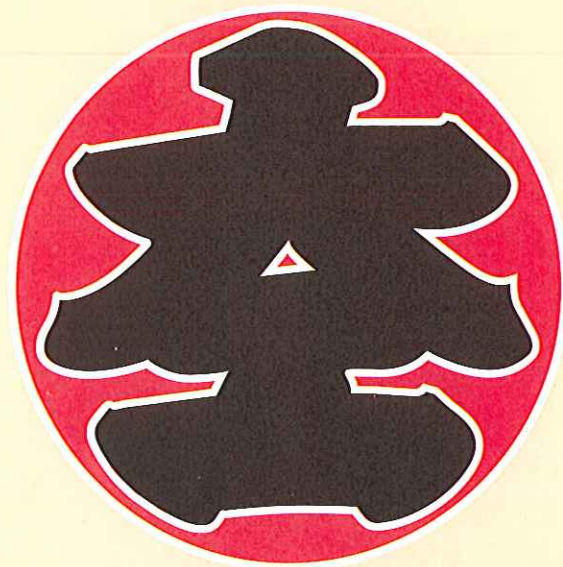


受 入 工 務 店 向 け

国土交通省補助プロジェクト

大工育成塾案内



日本の誇る伝統木造建築を次世代に残すため、
棟梁、その技を見せてやって下さい。

大工育成塾

国土交通省が応援します。

住宅地から美しいたずまいが失われ、シックハウス症候群などの新たな問題が発生し、プライバシーを過度に重視する住まいのありようが様々な社会問題を誘発する中、木や土等の自然素材で作られる伝統的な木造建築への関心が高まっています。伝統木造建築の持つ端正で均整のとれた美しさ、開放性、可変性、柔らかさ、暖かみといった特質が見直されつつあります。

しかし木造伝統構法の担い手である大工技能者を見ると、新規参入者の減少により高度な技術・技能の継承が困難になりつつあります。また、我が国の住宅は諸外国に較べて寿命が短く、このことが資源やエネルギーの無駄遣い、ひいては地球環境にも悪影響を与えています。このため、これからは質の高い住宅を建て、適切に維持管理しながら長期間にわたって快適な住まいとして使っていくことが大切であり、その実現のためにも確かな技術・技能を持った大工技能者が必要となっています。

一般社団法人 大工育成塾が実施する大工育成塾は、このような時代の要請に応えるものです。各分野の第一人者が大工育成塾のために執筆した20冊を超えるテキストを使った講義、高い技術・技能を持った指導棟梁による実技指導など、大工を目指す若者のための効果的な育成プログラムも高く評価できます。次代を担う若き大工技能者「大工志」の育成を国土交通省も応援します。

次世代に、先達の技を伝えたい。

よい住まいとは、家族の幸せの容れ物です。
住まいは、人が生まれて、育って、暮らすもの。
そこは人格形成の場所でもあります。
家づくりは人づくり、国づくりでもあるのです。

住宅が不足していた戦後50年は、早く・安くつくることが優先され、伝統的な木造住宅は、なかなか評価されにくい環境にありました。しかし、時代は今、大きく変わりつつあります。今こそ、日本の伝統構法である、木造建築を蘇らせる時なのです。我が国の職人文化・もの作り文化が生んだ伝統木造建築。その長所を現代の住まいに活かすことにより、日本の伝統文化を復権し、未来へと継承していきます。

大工は住まいづくりの志士です。
ここで学ぶ大工が、日本の伝統文化の再生を担います。
後継者を育てたい、次世代に先達の技を伝えたい
棟梁・工務店の方、お待ちしております。



大工育成塾塾長
松田 妙子

工学博士

(財)住宅産業研修財団理事長
(財)生涯学習開発財団理事長

昭和39年 日本ホームズ(株)を設立。
昭和52年 (財)住宅産業研修財団を設立。
昭和61年 (財)生涯学習開発財団理事長に就任。
昭和62年 藍綬褒章受章。
平成15年 大工育成塾を開塾。

大工育成塾とは

大工育成塾は、次代を担う大工職人の育成を目的として、平成15年度にスタートしました。日本の職人文化・もの作り文化の再興を担う人材を育成するための国家プロジェクトとして、国土交通省が支援し、一般社団法人 大工育成塾が運営するものです。

■大工職人育成の方法

塾生が集合して受ける「教室講義」と、受入工務店の指導棟梁による個別の「現場修業」を通じて、大工に必要な知識と技能・技術の両面の研修を行い、次代を担う大工職人を育成します。

■教室講義

- ・塾生は、体系的に組まれた授業で、伝統的な木造住宅に関する技術・技能の理論を学びます。
- ・豊富な経験と知識をもつ一流の講師陣が指導します。

■現場修業

- ・伝統木造建築の現場等での実践的な技術指導により、塾生は伝統的な木造住宅に関する技術・技能を着実に習得します。
- ・経験豊かな指導棟梁が3年間、一人の塾生の入塾から卒業まで実技指導を行います。



教室講義は集中合宿で実施されます。写真は墨付の講義。教室講義で使われる教科書はすべて、大工育成塾のために編集制作されています。左にテキスト頁、右に書き込み頁を設けることで、使いやすいように考慮され、講義終了後も自分だけの一生の教科書となるよう工夫されています。

◆受入工務店／棟梁



いい子にめぐり会えました。感謝しています。

(株)水澤工務店 西村晃義棟梁

伝統構法の継承のために、大工育成塾の取組みは意義があることだと思います。預かっている塾生は、辛抱強く、協調性もあり、分をわきまえている。よく勉強しますから将来大きく伸びると思います。道徳観を持って仕事に立ち向かうという態度を身につけ、立派な大工になってもらいたいですね。



全ての匠を束ねる棟梁に

(株)中井工務店 中井章博棟梁

現場には大工の他に左官屋さんや内装・設備関係の人など20種以上の業種の職人がいます。その全ての職人さんを束ねるのが大工(おおきなたくみ)の棟梁。だから家を建てる技術の他に掃除に至るまで何でもわかっていなければいけない。もちろん人格も。そういう大工を後世に残していくのが私の仕事だと思っています。

★指導塾生の渡辺君が大工技能士試験2級合格



現場では理論より長年の経験

(株)矢田工務店 矢田栄一棟梁

現場ではいろいろな問題に臨機応変に対応していかなければなりません。そのためには机上の理論よりも長年の経験が大事。それを塾生に教えたくて、現場以外でも機会を作って教えています。例えば、木の特性も在庫があればそれを使って実物を見せながら教えるようにしています。

自分の技術を
若者に教え伝えていきたい、
棟梁、工務店の方々、
ご参加をお待ちしています。

塾生受入工務店とは

木造伝統構法を次世代に残したい、
自分の技術を若者に伝えたい、
そんな意欲的な工務店・棟梁が参加しています。
大工育成塾では毎年100名の塾生募集を
予定しており、これに見合う数の
受入工務店を募集しています。

■受入工務店の要件

大工を志す塾生を受入れ、作業場や住宅建設現場に
おいて責任を持って実技指導を行っていただける工務店で、
以下の全てに該当するものとします。

- ①経営能力や技術能力の確保、向上に努めていること。
- ②徒弟制度による修業経験を有し、
伝統木造建築の工事に関する指導力を備え、
人格・見識に優れた棟梁を、社員又は
外注専属として有していること。
- ③伝統的な木造住宅の実技指導に適した
作業場と住宅建設現場を確保できること。
- ④安全管理に努めていること。

■塾生の受入と実技指導

受入工務店は、一般社団法人 大工育成塾と
実技研修実施委託契約を締結し、
原則として工務店に最も近い場所に居住する塾生を受入れ、
実技指導を行っていただきます。

■実技研修費

受入工務店に対しては、一般社団法人 大工育成塾から
実技研修費（1年目100万円、2年目90万円、3年目80万円）
が支払われます。

■現場修業の実施日

現場修業は、教室講義の日及び受入工務店の
休日を除き、原則として毎日行います。

◆受入工務店／棟梁



きれいな仕事ができる大工をめざして

ドルフ工務店 高山健次棟梁

初めから難しい仕事は無理なので、仕事の段階を追って
わかりやすくできるように指導しています。私は大工として、
常にお客さんに喜んでもらえるような“きれいな仕上がりの
仕事”ができる大工をめざしています。だからうちでは初
歩段階のノミやカンナからきれいに使えるようになります。
しかし、一番注意している事は安全面ですね。



やる気を支援しながら、技能五輪のレベルへ

有限会社 坂口サン建築 坂口三郎棟梁

机上の理論だけでなく実践において身体で技術を覚えて
いくことが大切。実際、自分で墨付けをして、施工して
いってこそ、黒板で習った事がほんとうに生かされていくと
いうもの。一人前の大工になるには、相当の年月がかかる
ものだが、大工育成塾の期限は3年。この3年間で一人
前にするために、一生懸命やるしかないですね。



どんな事も基本がしっかりしていることが大事

松下建築 松下進棟梁

うちの塾生は1年目なので、まずは現場になじむということ
を第一に考えています。この仕事は3年くらいが辛抱のし
どころで、それを耐えられれば今度は仕事が面白くてし
ようなくなってくるのです。気持ちが落ち込んだ時を見逃
さないように指導したい。いろいろな施工方法があると思
うが、現場でたたきこんだ基本が何事も大事です。

■「大工育成塾」受入工務店募集の概要

■受入工務店の募集数

塾生募集人員は毎年計100名を予定しており、これに見合う数の受入工務店を募集します。

■申込手続

①受付期限

別紙「大工育成塾」受入工務店募集要項記載の受付期限

②提出書類

別紙募集要項の以下(イ)～(ニ)の4枚に必要事項を記入の上、(ホ)～(チ)を同封し、角形2号の封筒を使って簡易書留で郵送して下さい。

(イ)塾生受入希望書

(ロ)工務店調書

(ハ)代表施工事例調書(1例)

(ニ)指導棟梁調書

(ホ)直近の決算書のコピー

(ヘ)最寄りの駅から工務店への地図
及び写真(外観・内部各1枚)

(ト)最寄りの駅から作業所への地図
及び写真(外観・内部各1枚)

(チ)返信用封筒(角形2号の封筒に住所、氏名、代表者
氏名を記入し、返信用切手を貼付)

③送付先

「大工育成塾受入工務店応募申込み」と明記の上、
最寄りの大工育成塾宛に送付して下さい。

■選考

受入工務店の選考は、書類審査と面接によって行います。

①書類審査(第一次審査)

提出いただいた書類をもとに、書類審査を行います。

②面接(第二次審査)

工務店の代表者と塾生の実技指導を行う棟梁に面接を受けていただきます。なお、面接の日程及び会場は改めてお知らせいたします。

③選考結果の発表

選考結果は、各応募者に郵送で通知するほか、
大工育成塾のホームページにも掲載します。

■塾所在地

●東京塾

〒105-0001 港区虎ノ門1-1-21

新虎ノ門実業会館2F

一般社団法人 大工育成塾 本部

TEL.03-3504-6604 FAX. 03-3508-4777

●名古屋塾

〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26

昭和ビル9階

一般社団法人 大工育成塾 名古屋事務所

TEL.052-238-5626 FAX.052-238-5628

●大阪塾

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-6-6

御堂筋センタービル6階

一般社団法人 大工育成塾 大阪事務所

TEL.06-6252-6152 FAX. 06-6252-5201

●福岡塾

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-12

第5グリーンビル4階

一般社団法人 大工育成塾 福岡事務所

TEL.092-477-5561 FAX. 092-477-5505

本紙に関するお問い合わせはFAXでお願いします。

大工育成塾の詳細については下記ホームページをご覧ください。

<http://www.daiku.or.jp>



＜国家プロジェクト 大工育成塾 檜組 指導棟梁＞

大工育成塾の先生は、棟梁です。



〒105-0001 港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館2F 一般社団法人 大工育成塾 本部

Tel:03-3504-6604 Fax:03-3508-4777 <http://www.daiku.or.jp>

主催:一般社団法人 大工育成塾

協力:(財)住宅産業研修財団 / (財)生涯学習開発財団

